

用語解説

【あ行】

空家等

使用されていない建築物だけでなく、建築物に付属する工作物や立木、土地に定着するもの等も含む。

空家バンク

空家所有者のニーズと空家を必要とする人のニーズをマッチングさせるしくみのこと。

アーバンデザイン

都市の形態や景観などを整えたり美しくしたりするため、都市を構成する建物や道路、公園、植栽などを1つのまとまったデザイン対象としてとらえ、形態や色彩などをデザインすること。

インフラ

「インフラストラクチャー」の略で、主に道路や上下水道などの都市の基盤となる施設のこと。

SNS

ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略であり、共通の趣味を持つ人達などとの交流を目的としたインターネットサービスのこと。

NPO法人

特定非営利活動促進法に基づき法人格が付与された法人。NPOとは、Non Profit Organizationの略であり、継続的・自発的にまちづくり、環境保全、福祉の増進などの社会貢献活動を行う、営利を目的としない民間団体の総称。

エネルギー・マネジメント・システム（エリア・エネルギー・マネジメント・システム）

IT 技術を活用して建物のエネルギー利用の管理や省エネルギー化対策を行うシステムのこと。なお、エリア一帯の建物のエネルギー利用を一元管理するシステムをエリア・エネルギー・マネジメント・システムという。

【か行】

カーシェアリング

特定の自動車を複数の人が共同で利用するサービスやシステムのこと。

（仮称）伊勢原大神軸

伊勢原市の市街地とツインシティ大神地区を結び、ツインシティにアクセスする東西方向の道路。

（仮称）平塚大神軸

市の西部地域からツインシティ大神地区を結びとともに、市中心部から放射状に配置された道路を接続し、市内の各地域からツインシティにアクセスする道路。

環境共生都市

周辺の田園環境などとの共生を図るとともに、省エネルギー型、循環型、低環境負荷型の地球環境にやさしい都市のこと。

既成市街地

平塚駅からおおむね1km～4km圏にあたり、ほぼ宅地化している地域。

北の核

ツインシティ大神地区周辺のエリアを指す。

共助

要配慮者の避難に協力する、地域の方々と消火活動を行うなど、周りの人たちと助け合うこと。

減災

事前の予防策を講じることで、災害発生時の被害を最小限に食い止めること。

公開型GIS

GISとはジオグラフィック・インフォメーション・システムの略で、地理情報システムのこと。公開型GISとはインターネット上などで誰もが利用することができる地理情報システムのこと。空間に関する様々な情報をコンピュータ上で重ね合わせ、情報の分析・解析を行うなど、情報を視覚的に表示させることができる。

公共サイン

人々をわかりやすく目的の場所に誘導し、また、その場所を案内・説明するといった案内・誘導機能に加え、交通標識といったその場所での規制・警戒などのルールを表示する機能、その他の公共的に必要な情報や公共的な宣言・PRなどを行う掲示・公表機能と共に、良好な景観を形成する役割も担っている。

公共施設の最適化

時代に応じた持続可能な公共施設のあり方を目指して、公共施設の質、量、コスト等の見直しを行うこと。

高次都市機能

行政機関、商業施設、医療・福祉施設、教育施設などのうち、市域を越えて広域的に影響を及ぼす都市機能のこと。

公助

減災に向けた施設の整備や避難支援、被災後の救助活動や支援物資の提供、復旧・復興などの公的支援のこと。

交流型情報ステーション

一般車両の休憩場所として利用でき、農地と消費者とを結び付け地域の農業を支える機能や道路情報などを提供する機能を持つ施設のこと。

コージェネレーション

天然ガス、石油、LPガス等を燃料として、エンジン、タービン、燃料電池等の方式により発電し、その際に生じる廃熱も同時に回収するシステム。

コミュニティ

共通の目的や問題意識をもち、相互の情報交換や情報共有を通じて、共同で目的の実現を推進する人の集まり。自治会を始めとして、地域のつながり（地縁）によって集まる地域コミュニティや個々の関心や趣味など特定のテーマによって集まるテーマコミュニティがある。

コミュニティサイクル

街中に相互利用可能な複数のサイクルポート（自転車貸出返却施設）を設置し、利用者がどのポートでも貸出・返却のできる交通手段のこと。

コミュニティバス

市街地の交通空白地帯において、自治体（市区町村）、NPOや商工団体等が中心に導入し、従来の乗合バスを補う地域住民の足となる主に小型バスを用いた乗合型の公共交通。

コワーキングスペース

主に個人で仕事を行うことが多い人同士で会議室、作業スペースなどを共有しながら仕事を行うことができ、利用者同士の交流や共同といったコミュニティ形成を促す場のこと。

コンパクトシティ・プラス・ネットワーク

病院やスーパーなど生活利便施設が歩いて行ける範囲にまとまった拠点を地域ごとに形成し、各拠点に公共交通などで誰もが簡単にアクセスすることができる都市の構造。

【さ行】**サイクル&バスライド**

市街地の外縁部において、自動車利用からバス利用へ誘導させるため、バス停の付近に自転車駐車を整備するなどにより、バス利用者の利便性を向上させる施策。

最大クラスの津波

発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波のこと。

さがみ産業ロボット特区

地域活性化総合特別地域制度を活用した特区であり、相模川沿川の12市町が含まれる。規制緩和や様々な支援策により、生活支援ロボットの実用化を通じた地域の安全・安心の実現を目標としている。

産学公の連携

企業と大学と行政の連携のこと。

シェアオフィス

業務スペースを複数の利用者で共有することができるオフィスのこと。複数の利用者でオフィスを共有することにより低価格で借りることができる。

シェアハウス

キッチンやリビングなどを複数の利用者で共有することができる住宅のこと。

市街化区域

都市計画法により指定された既に市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的、計画的に市街化を図るべき区域。

市街化調整区域

都市計画法により指定された区域区分の1つであり、市街化区域と対をなす。市街化を抑制すべき区域であり、この区域では開発行為は原則として抑制され、都市施設の整備も原則として行わない。

自助

家庭で日頃から災害に備えたり、地震発生時に自主的に津波来襲前に避難するなど、自分で自分の安全を守ること。

シティプロモーション

まちのイメージ向上や定住促進を目指し、様々な魅力を発信する活動。

市民農園

市民がレクリエーション目的などで小面積の農地を利用して野菜や花などを育てるための農園。

省エネルギー

省エネルギーとは、産業活動や日常生活において、エネルギーを効率的に利用すること。

湘南ひらつかビーチパーク

1990年に湘南海岸一帯で開かれた「サーフ90」がきっかけで、1991年に平塚海岸に誕生した。ビーチバレー、ビーチサッカーなどが一年中楽しめる。

諸機能集積地区

スーパーや診療所、バス停などの交通施設など生活に必要なサービス機能がまとまって立地している地区。

住宅ストックデータベース

中古住宅の流通の促進を目的とし、利用可能な空家の情報をまとめたデータベースのこと。

人口集中地区（D1D）

国勢調査で設定されている単位区の1つで、市区町村の区域のうち、特に人口密度の高い地域。

1km²当り4,000人以上の人口密度があり、それらが市区町村内で互いに隣接した地域の人口が5,000人以上となる場合に定められる。

スキーム

目標を達成するための計画や企画、仕組みのこと。

ストック

有効に活用できる都市の資産である、利活用可能な公共施設や空家等のこと。

生活圏

買物・医療・通勤・通学などを行う地域のこと。機能の集積度合いに応じて日常生活圏、地域生活圏、中心生活圏に分けている。なお、本プランではこれら3つを含めて、生活圏という。

【た行】

タウンマネジメント

地域の良好な環境や地域の価値を維持、向上させるために、住民や事業者、地権者などにより地域を管理・運営する自主的な取組みのこと。

地域公共交通

公共交通が不便な地域に対し、路線バスを補完し地域のニーズを満たす公共交通のこと。

地域生活圏

スーパーや診療所などが立地する範囲のこと。

地域のビジョン

地域内の資源や実現したい暮らしの様子、地域に必要な機能とその配置などを地域内で話し合いながら決めていくもの。

地域防災力

自助、共助の効果的な組み合わせによる、地域の持つ防災能力のこと。

地球温暖化

大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスの量が増えることで、地球全体の平均気温が上昇し続けている現象のこと。

地区計画

都市計画法に基づき、地区レベルのまちづくりの要請に応え、住民生活に結びついた地区を単位として、建物の用途や容積率、高さ、道路、公園などの配置などについて地区の特性に応じてきめ細かく定め、良好なまちづくりを進める制度。

地区まちづくり計画

住民が、住んでいる地区の良い点や改善し点などを考え、まちづくりのルールとしてまとめるもの。建てられる建物の高さや、公園の清掃ルールなどを定めることができる。

地籍調査

市町村が主体となって1筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のこと。

中心生活圏

鉄道駅などの主要な交通結節点の周辺に商業や産業などの多様な機能が立地する範囲のこと。

低炭素まちづくり（計画）

都市の低炭素化の促進に関する法律に基づき、都市の低炭素化に向けた取り組みを後押しし、民間投資を促進するための計画として市町村が策定する計画のこと。

デマンド交通

デマンドとは要求するという意味で、利用者の要求に応じてワゴンタクシー等を運行させるシステムのこと。利用者は乗車時間の予約を行うことで固定ダイヤにみられるバス待ちから解放されるとともに、事業者も利用者の予約状況に応じた最適な配車設定による運行で運行コストを引き下げられるメリットがある。

都市計画

都市計画には市街化区域、市街化調整区域、地域地区、都市計画道路、都市計画公園、地区計画、土地区画整理事業などがある。

土地区画整理事業

土地区画整理法に基づき、土地所有者などから土地の一部を提供してもらい、道路や公園など新たな公共用地として活用し、整然とした市街地を形成することにより居住環境などの向上を図るもの。

トランジットセンター

ツインシティにおける平塚側のバスなどの公共交通の乗換え機能を持つ交通広場のこと。(新幹線新駅の西口機能を担う施設)

トランジットモール

国道129号の広場(交流型情報ステーション)とトランジットセンターを結び、地域の交流を盛んにする機能を持つツインシティ大神地区のシンボル道路のこと。

【な行】

2核1地域

平塚駅周辺の中心市街地を南の核、神奈川県土の南のゲートとして計画されているツインシティを北の核とした2つの核と学術機関や研究所などが立地し自然環境が豊かな本市の西部に広がる地域のこと。本冊では、2核を強力につなぐための都市軸と西部地域と南北2つの核をつなぐ軸をもって、本市の将来の基本構造としている。

日常生活圏

コンビニや郵便局が立地するいわゆる「近所」の範囲のこと。

乗合タクシー

交通空白地帯において、自治体(市区町村)、NPOや商工団体等が中心に導入される従来の乗合バスを補う地域住民の足となる乗合型の公共交通であり、小型バスの乗車人員ほどの需要が見込めない場合等に運行するもの。

【は行】

バリアフリー

障がい者や高齢者が生活する上で、行動の妨げとなる障害を取り去った生活空間のあり方のこと。具体的には歩行空間の段差解消や公共公益施設におけるエレベーターの設置、案内などの点字表示などがあげられる。

ヒートアイランド現象

都市の気温が周囲よりも高くなる現象で、気温の分布図を描くと、高温域が都市を中心に島のようになることからヒートアイランド現象という。

平塚市まちづくり条例

まちづくりの基本理念や市民・事業者・市の責務など、本市のまちづくりにおける基本的事項のほか、地区住民が主体となって行う地区まちづくりの仕組みや手続き、開発事業に伴う手続きや基準などを総合的に定めたもの。平成20年7月1日施行。

プラットフォーム

まちづくりを進めるうえで、連携の土台となる場のこと。

【ま行】

マリンレジャー

海洋スポーツのことで、ヨット、ダイビング、水上スキーなど。

南の核

平塚駅周辺の商業・業務機能が集積したエリアを指す。

【ら行】

立地適正化(計画)

人々の住まいや公共施設、医療施設、商業施設等を一定の範囲に収め、コンパクトなまちづくりを行い、市街地の空洞化を防止しようとする計画のこと。

リノベーション

既存の建物に大規模な改修工事を行い、性能を向上させたり、機能を変更し、付加価値をあたえること。

緑化施設整備計画認定制度

民間の建物の屋上、空地などの敷地内を緑化する緑化施設整備計画について、市町村長の認定を受けることができる制度。認定を受けることにより、緑化施設に課税される固定資産税の優遇を受けることなどができる。

緑化地域

緑が不足している市街地などにおいて、都市計画法に基づく地域地区として市町村が計画決定を行うことで、一定規模以上の建物の新築や増築を行う場合に、緑化を義務付ける制度。